

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7570592号
(P7570592)

(45)発行日 令和6年10月22日(2024.10.22)

(24)登録日 令和6年10月11日(2024.10.11)

(51)国際特許分類

F I

A 4 7 G 9/10 (2006.01) A 4 7 G 9/10 A

請求項の数 7 (全24頁)

(21)出願番号	特願2021-77297(P2021-77297)	(73)特許権者	520158447
(22)出願日	令和3年4月30日(2021.4.30)		株式会社ライフクオリティサポート
(65)公開番号	特開2021-178169(P2021-178169 A)		千葉県佐倉市ユーカーが丘4 - 2 - M 1 1 1 4
(43)公開日	令和3年11月18日(2021.11.18)	(74)代理人	100108442
審査請求日	令和5年6月26日(2023.6.26)		弁理士 小林 義孝
(31)優先権主張番号	特願2020-82021(P2020-82021)	(72)発明者	金子 昌夫
(32)優先日	令和2年5月7日(2020.5.7)		東京都北区王子本町2 - 2 5 - 1 8 - 5 0 2
(33)優先権主張国・地域又は機関	日本国(JP)	審査官	石井 茂

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 枕

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用者が寝臥時に使用する枕において、

前記枕が、底面及び頂面を有して前記使用者の頸部を支持する所定面積の第1クッションエリアと、前記第1クッションエリアに繋がって該第1クッションエリアの前後方向前方に位置し、底面及び頂面を有して前記使用者の頭部を支持する所定面積の第2クッションエリアとを備え、

前記第1クッションエリアが、仰向けに仰臥する前記使用者の頸部を支持する所定面積の中央第1クッションエリアと、前記中央第1クッションエリアの幅方向一方と幅方向他方とに位置し、横向きに横臥する前記使用者の頸部を支持する所定面積の両側第1クッションエリアとから形成され、

前記第2クッションエリアが、前記中央第1クッションエリアの前後方向前方に位置し、仰向けに仰臥する前記使用者の頭部を支持する所定面積の中央第2クッションエリアと、前記両側第1クッションエリア前後方向前方に位置しつつ前記中央第2クッションエリアの幅方向一方と幅方向他方とに位置し、横向きに横臥する前記使用者の頭部を支持する所定面積の両側第2クッションエリアとから形成され、

前記中央第1クッションエリアの頂面が、該中央第1クッションエリアの中心に向かって幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第1頂面と、前記両側第1頂面の間に位置して幅方向へ水平に延びる中央第1頂面とを有し、前記中央第2クッションエリアの頂面が、該中央第2クッションエリアの中心に向かって幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる

10

20

両側第 2 頂面と、前記両側第 2 頂面の間に位置して幅方向へ水平に延びる中央第 2 頂面とを有し、

前記枕が、前記両側第 2 クッションエリアの頂面であって該両側第 2 クッションエリアの前記中央第 2 クッションエリアに隣接する内側縁に位置し、該両側第 2 クッションエリアの上方へ隆起して前後方向へ延びる一対のストッパー部材を含み、

前記中央第 1 クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が、前記両側第 1 クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低く、前記中央第 2 クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が、前記中央第 1 クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低いとともに、前記両側第 2 クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低く、前記両側第 2 クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法に前記ストッパー部材の上下方向の高さ寸法を加えた高さ寸法が、前記両側第 1 クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低いことを特徴とする枕。

10

【請求項 2】

前記中央第 1 クッションエリアの中央第 1 頂面が、前後方向へ向かって弧を描き、前記両側第 1 クッションエリアの頂面が、前後方向へ向かって弧を描いている請求項 1 に記載の枕。

【請求項 3】

前記中央第 2 クッションエリアの前後方向の長さ寸法が、前記中央第 1 クッションエリアの前後方向の長さ寸法よりも長く、前記両側第 2 クッションエリアの前後方向の長さ寸法が、前記両側第 1 クッションエリアの前後方向の長さ寸法よりも長い請求項 1 又は請求項 2 に記載の枕。

20

【請求項 4】

前記中央第 1 クッションエリアの底面から中央第 1 頂面までの最大高さ寸法が、7.5 ~ 8.5 cm の範囲、前記両側第 1 クッションエリアの底面から頂面までの最大高さ寸法が、17.5 ~ 18.5 cm の範囲にあり、前記中央第 2 クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が、1.5 ~ 2.5 cm の範囲、前記両側第 2 クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が、15.5 ~ 16.5 cm の範囲にあり、前記ストッパー部材の上下方向の高さ寸法が、1 ~ 1.5 cm の範囲にある請求項 1 ないし請求項 3 いずれかに記載の枕。

【請求項 5】

30

前記中央第 1 クッションエリア及び前記両側第 1 クッションエリアの前後方向の長さ寸法が、9.5 ~ 10.5 cm の範囲、前記中央第 2 クッションエリア及び前記両側第 2 クッションエリアの前後方向の長さ寸法が、19.5 ~ 20.5 cm の範囲にあり、前記中央第 1 クッションエリア及び前記中央第 2 クッションエリアの幅方向の長さ寸法が、23.5 ~ 24.5 cm の範囲、前記両側第 1 クッションエリア及び前記両側第 2 クッションエリアの幅方向の長さ寸法が、22.5 ~ 23.5 cm の範囲にある請求項 1 ないし請求項 4 いずれかに記載の枕。

【請求項 6】

前記枕が、通気透湿性及び柔軟性並びにクッション性を有して前記第 1 クッションエリアの頂面及び前記第 2 クッションエリアの頂面に載置するカバー部材を含み、前記カバー部材が、前記第 1 クッションエリアの中央第 1 クッションエリア全域を被覆し、所定厚みのシート部材を収容する第 1 ポケットを備えた所定面積の中央第 1 カバーエリアと、前記第 1 クッションエリアの両側第 1 クッションエリア全域を被覆し、前記所定厚みのシート部材を収容する第 2 ポケットを備えた所定面積の両側第 1 カバーエリアと、前記第 2 クッションエリアの中央第 2 クッションエリア全域を被覆し、前記所定厚みのシート部材を収容する第 3 ポケットを備えた所定面積の中央第 2 カバーエリアと、前記第 2 クッションエリアの両側第 2 クッションエリア全域を被覆し、前記所定厚みのシート部材を収容する第 4 ポケットを備えた所定面積の両側第 2 カバーエリアとから形成されている請求項 1 ないし請求項 5 いずれかに記載の枕。

40

【請求項 7】

50

前記枕が、前記中央第２クッションエリアの中央第２頂面に形成されて該中央第２クッションエリアの上下方向の高さ寸法を嵩上げする柔軟な嵩上げ部材又は該中央第２クッションエリアの中央第２頂面を冷却する冷却材或いは該中央第２クッションエリアの中央第２頂面を加温する加温材を挿脱可能に収容する第５ポケットと、前記両側第２クッションエリアの両側第２頂面に形成されて該両側第２クッションエリアの上下方向の高さ寸法を嵩上げする柔軟な嵩上げ部材又は該両側第２クッションエリアの両側第２頂面を冷却する冷却材或いは該両側第２クッションエリアの両側第２頂面を加温する加温材を挿脱可能に収容する一対の第６ポケットとを含む請求項１ないし請求項6いずれかに記載の枕。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【０００１】

本発明は、使用者が寝臥時に使用する枕に関する。

【背景技術】

【０００２】

通気性を有する布地によって袋状に形成された外装体及びこの外装体内に収容されたクッション体を有し、クッション体が弾性材によって上下方向に貫通する通気孔を有する筒状に形成され、補強凸部を周方向全長にわたって設けた複数の中間支持部材が外周面において行列状に配置された枕が開示されている。この枕は、クッション体を構成する中間支持部材が上下方向に貫通する通気孔を有するから、枕全体の通気性を向上させることができる。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【０００３】

【文献】特開２０１６－８７３４０号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

前記特許文献１に開示の枕は、その全域の高さ寸法が同一であり、その使用者が仰向けに仰臥した状態から横向きに横臥した場合、使用者の肩幅によって使用者の頸部が肩部から頭部に向かって下方へ曲がり、質の良い睡眠を得ることができないのみならず、そのまま横臥すると、頭痛や腰痛、肩こりや首のこり、その他の体調不良の原因になる場合がある。又、使用者が横向きに横臥した状態から仰向けに仰臥した場合、枕の高さ寸法にもよるが、使用者の頸部が頭部から肩部に向かって下方へ曲がる場合があり、質の良い睡眠を得ることができないのみならず、そのまま仰臥すると、頭痛や腰痛、肩こりや首のこり、その他の体調不良の原因になる場合がある。

30

【０００５】

本発明の目的は、使用者が仰向けに仰臥した状態から横向きに横臥したとしても、頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができるとともに、そのまま横臥したとしても、頭痛や腰痛、肩こりや首のこり、その他の体調不良の発生を防ぐことができる枕を提供することにある。本発明の他の目的は、使用者が横向きに横臥した状態から仰向けに仰臥したとしても、頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができるとともに、そのまま仰臥したとしても、頭痛や腰痛、肩こりや首のこり、その他の体調不良の発生を防ぐことができる枕を提供することにある。

40

【課題を解決するための手段】

【０００６】

前記課題を解決するための本発明の前提は、使用者が寝臥時に使用する枕である。

【０００７】

前記前提における本発明の特徴は、枕が、底面及び頂面を有して使用者の頸部を支持する所定面積の第１クッションエリアと、第１クッションエリアに繋がって第１クッション

50

エリアの前後方向前方に位置し、底面及び頂面を有して使用者の頭部を支持する所定面積の第2クッションエリアとを備え、第1クッションエリアが、仰向けに仰臥する使用者の頸部を支持する所定面積の中央第1クッションエリアと、中央第1クッションエリアの幅方向一方と幅方向他方とに位置し、横向きに横臥する使用者の頸部を支持する所定面積の両側第1クッションエリアとから形成され、第2クッションエリアが、中央第1クッションエリアの前後方向前方に位置し、仰向けに仰臥する使用者の頭部を支持する所定面積の中央第2クッションエリアと、両側第1クッションエリア前後方向前方に位置しつつ中央第2クッションエリアの幅方向一方と幅方向他方とに位置し、横向きに横臥する使用者の頭部を支持する所定面積の両側第2クッションエリアとから形成され、中央第1クッションエリアの頂面が、中央第1クッションエリアの中心に向かって幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第1頂面と、両側第1頂面の間に位置して幅方向へ水平に延びる中央第1頂面とを有し、中央第2クッションエリアの頂面が、中央第2クッションエリアの中心に向かって幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第2頂面と、両側第2頂面の間に位置して幅方向へ水平に延びる中央第2頂面とを有し、枕が、両側第2クッションエリアの頂面であって両側第2クッションエリアの中央第2クッションエリアに隣接する内側縁に位置し、両側第2クッションエリアの上方へ隆起して前後方向へ延びる一對のストッパー部材を含み、中央第1クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が、両側第1クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低く、中央第2クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が、中央第1クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低いとともに、両側第2クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低く、両側第2クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法にストッパー部材の上下方向の高さ寸法を加えた高さ寸法が、両側第1クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低いことにある。

【0008】

本発明の一例としては、中央第1クッションエリアの中央第1頂面が、前後方向へ向かって弧を描き、両側第1クッションエリアの頂面が、前後方向へ向かって弧を描いている。

【0009】

本発明の他の一例としては、中央第2クッションエリアの前後方向の長さ寸法が、中央第1クッションエリアの前後方向の長さ寸法よりも長く、両側第2クッションエリアの前後方向の長さ寸法が、両側第1クッションエリアの前後方向の長さ寸法よりも長い。

【0010】

本発明の他の一例としては、中央第1クッションエリアの底面から中央第1頂面までの最大高さ寸法が、7.5～8.5cmの範囲、両側第1クッションエリアの底面から頂面までの最大高さ寸法が、17.5～18.5cmの範囲にあり、中央第2クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が、1.5～2.5cmの範囲、両側第2クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が、15.5～16.5cmの範囲にあり、ストッパー部材の上下方向の高さ寸法が、1～1.5cmの範囲にある。

【0011】

本発明の他の一例としては、中央第1クッションエリア及び両側第1クッションエリアの前後方向の長さ寸法が、9.5～10.5cmの範囲、中央第2クッションエリア及び両側第2クッションエリアの前後方向の長さ寸法が、19.5～20.5cmの範囲にあり、中央第1クッションエリア及び中央第2クッションエリアの幅方向の長さ寸法が、23.5～24.5cmの範囲、両側第1クッションエリア及び両側第2クッションエリアの幅方向の長さ寸法が、22.5～23.5cmの範囲にある。

【0012】

本発明の他の一例としては、記憶枕が、通気透湿性及び柔軟性並びにクッション性を有して第1クッションエリアの頂面及び第2クッションエリアの頂面に載置するカバー部材を含み、カバー部材が、第1クッションエリアの中央第1クッションエリア全域を被覆し、所定厚みのシート部材を収容する第1ポケットを備えた所定面積の中央第1カバーエリアと、第1クッションエリアの両側第1クッションエリア全域を被覆し、所定厚みのシート

10

20

30

40

50

部材を収容する第2ポケットを備えた所定面積の両側第1カバーエリアと、第2クッションエリアの中央第2クッションエリア全域を被覆し、所定厚みのシート部材を収容する第3ポケットを備えた所定面積の中央第2カバーエリアと、第2クッションエリアの両側第2クッションエリア全域を被覆し、所定厚みのシート部材を収容する第4ポケットを備えた所定面積の両側第2カバーエリアとから形成されている。

【0013】

本発明の他の一例としては、枕が、中央第2クッションエリアの中央第2頂面に形成されて中央第2クッションエリアの上下方向の高さ寸法を嵩上げする柔軟な嵩上げ部材又は中央第2クッションエリアの中央第2頂面を冷却する冷却材或いは中央第2クッションエリアの中央第2頂面を加温する加温材を挿脱可能に収容する第5ポケットと、両側第2クッションエリアの両側第2頂面に形成されて両側第2クッションエリアの上下方向の高さ寸法を嵩上げする柔軟な嵩上げ部材又は両側第2クッションエリアの両側第2頂面を冷却する冷却材或いは両側第2クッションエリアの両側第2頂面を加温する加温材を挿脱可能に収容する一対の第6ポケットとを含む。

10

【発明の効果】

【0014】

本発明に係る枕によれば、第1クッションエリアが仰向けに仰臥する使用者の頸部を支持する所定面積の中央第1クッションエリアと横向きに横臥する使用者の頸部を支持する所定面積の両側第1クッションエリアとから形成され、第2クッションエリアが仰向けに仰臥する使用者の頸部を支持する所定面積の中央第2クッションエリアと横向きに横臥する使用者の頸部を支持する所定面積の両側第2クッションエリアとから形成され、中央第1クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が両側第1クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低く、中央第2クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が中央第1クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低いとともに両側第2クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法よりも低いから、使用者が仰向けに仰臥した状態から横向きに横臥した場合、底面から頂面までの高さ寸法が中央第2クッションエリアのそれよりも高い両側第2クッションエリアのいずれか一方に使用者の頸部が移動し、底面から頂面までの高さ寸法が中央第1クッションエリアのそれよりも高い両側第1クッションエリアのいずれか一方に使用者の頸部が移動し、使用者の肩部の高さが両側第1クッションエリア及び両側第2クッションエリアの高さに吸収されるから、使用者の頸部が肩部から頸部に向かって下方へ不自然に湾曲することではなく、頸部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができるとともに、そのまま横臥したとしても、頭痛や腰痛、肩こりや首のこり、その他の体調不良の発生を防ぐことができる。枕は、使用者が横向きに横臥した状態から仰向けに仰臥した場合、底面から頂面までの高さ寸法が両側第2クッションエリアのそれよりも低い中央第2クッションエリアに使用者の頸部が移動し、底面から頂面までの高さ寸法が両側第1クッションエリアのそれよりも低い中央第1クッションエリアに使用者の頸部が移動するから、使用者の頸部及び頸部の高さが低くなったとしても、使用者の頸部が頸部から肩部に向かって下方へ不自然に湾曲することではなく、使用者の頸部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができるとともに、そのまま仰臥したとしても、頭痛や腰痛、肩こりや首のこり、その他の体調不良の発生を防ぐことができる。枕は、それを使用して使用者が仰向けに仰臥しているときに、使用者の頸部が中央第1クッションエリアに支持されることで、使用者の頸椎の前方に弯曲（前弯）状態（使用者の頸椎の通常のあるべき状態）を保持することができ、それを使用して使用者が横向きに横臥しているときに、使用者の頸部が両側第1クッションエリアに支持されることで、使用者の背骨と頸椎との直線形状を保持することができ、使用者の神経の圧迫を防ぐことができる。

20

30

40

【0015】

中央第1クッションエリアの頂面が中央第1クッションエリアの中心に向かって幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第1頂面と両側第1頂面の間に位置して幅方向へ水平に延びる中央第1頂面とを有し、中央第2クッションエリアの頂面が中央第2クッショ

50

ンエリアの中心に向かって幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第 2 頂面と両側第 2 頂面の間に位置して幅方向へ水平に延びる中央第 2 頂面とを有する枕は、使用者が仰向けに仰臥したときに、中央第 2 クッションエリアの幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第 2 頂面と幅方向へ水平に延びる中央第 2 頂面とが使用者の頭部を包み込むように支持し、中央第 1 クッションエリアの幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第 1 頂面と幅方向へ水平に延びる中央第 1 頂面とが使用者の頸部を包み込むように支持するから、使用者の頭部の中央第 1 クッションエリアから両側第 1 クッションエリアへの不用意な移動を防ぐことができ、使用者の頸部の中央第 2 クッションエリアから両側第 2 クッションエリアへの不用意な移動を防ぐことができ、仰向けに仰臥した使用者の頭部を中央第 1 クッションエリアに保持するとともに仰向けに仰臥した使用者の頸部を中央第 2 クッションエリアに保持することで、使用者の頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができる。

10

【 0 0 1 6 】

中央第 1 クッションエリアの中央第 1 頂面が前後方向へ向かって弧を描き、両側第 1 クッションエリアの頂面が前後方向へ向かって弧を描いている枕は、仰向けに仰臥した使用者の頸部が前後方向へ向かって弧を描く中央第 1 クッションエリアの中央第 1 頂面に支持されるから、使用者の頸部が中央第 1 クッションエリアに点で支えられ、中央第 1 クッションエリアが使用者の頸部を圧迫することではなく、仰向けに仰臥した使用者の頸部を中央第 1 クッションエリアが圧迫することによる不快感を防ぐことができる。枕は、横向きに横臥した使用者の頸部が前後方向へ向かって弧を描く両側第 1 クッションエリアの頂面に支持されるから、使用者の頸部が両側第 1 クッションエリアに点で支えられ、両側第 1 クッションエリアが使用者の頸部を圧迫することではなく、横向きに横臥した使用者の頸部を両側第 1 クッションエリアが圧迫することによる不快感を防ぐことができる。枕は、それを使用して使用者が仰向けに仰臥しているときに、使用者の頸部が前後方向へ向かって弧を描く中央第 1 クッションエリアに支持されることで、使用者の頸椎の前方に弯曲（前弯）状態を保持することができ、それを使用して使用者が横向きに横臥しているときに、使用者の頸部が前後方向へ向かって弧を描く両側第 1 クッションエリアに支持されることで、使用者の背骨と頸椎との直線形状を保持することができ、使用者の神経の圧迫を確実に防ぐことができる。

20

【 0 0 1 7 】

30

中央第 2 クッションエリアの前後方向の長さ寸法が中央第 1 クッションエリアの前後方向の長さ寸法よりも長く、両側第 2 クッションエリアの前後方向の長さ寸法が両側第 1 クッションエリアの前後方向の長さ寸法よりも長い枕は、前後方向の長さ寸法が中央第 1 クッションエリアのそれよりも長い中央第 2 クッションエリアが仰向けに仰臥した使用者の頭部全体を確実に支持し、前後方向の長さ寸法が両側第 1 クッションエリアのそれよりも長い両側第 2 クッションエリアが横向きに横臥した使用者の頭部全体を確実に支持するから、使用者の頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができる。

【 0 0 1 8 】

両側第 2 クッションエリアの頂面であって両側第 2 クッションエリアの中央第 2 クッションエリアに隣接する内側縁に位置し、両側第 2 クッションエリアの上方へ隆起して前後方向へ延びる一対のストッパー部材を含む枕は、枕の両側第 2 クッションエリアの内側縁から上方へ隆起する一対のストッパー部材によって仰向けに仰臥した使用者の頭部が押さえられ、使用者の頭部及び頸部を中央第 1 クッションエリア及び中央第 2 クッションエリアに位置させることができ、仰向けに仰臥した使用者の頭部や頸部の両側第 1 クッションエリアや両側第 2 クッションエリアへの不用意な移動を防ぐことができるとともに、仰向けに仰臥した使用者の頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができる。枕は、それら一対のストッパー部材によって横向きに横臥した使用者の頭部が押さえられ、使用者の頭部及び頸部を両側第 1 クッションエリア及び両側第 2 クッションエリアに位置させることができ、横向きに横臥した使用者の頭部や頸部の中央第 1 クッションエリアや中央

40

50

第2クッションエリアへの不用意な移動を防ぐことができるとともに、横向きに横臥した使用者の頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができる。

【0019】

中央第1クッションエリアの底面から中央第1頂面までの最大高さ寸法が7.5～8.5cmの範囲、両側第1クッションエリアの底面から頂面までの最大高さ寸法が17.5～18.5cmの範囲にあり、中央第2クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が1.5～2.5cmの範囲、両側第2クッションエリアの底面から頂面までの高さ寸法が15.5～16.5cmの範囲にある枕は、使用者が仰向けに仰臥した状態から横向きに横臥した場合、底面から頂面までの高さ寸法が15.5～16.5cmの範囲にある両側第2クッションエリアのいずれか一方に使用者の頭部が移動し、底面から頂面までの最大高さ寸法が17.5～18.5cmの範囲にある両側第1クッションエリアのいずれか一方に使用者の頸部が移動し、使用者の肩部の高さが両側第1クッションエリア及び両側第2クッションエリアの高さに吸収されるから、それら高さ寸法を有する両側第2クッションエリア及び両側第1クッションエリアに支持された使用者の頭部及び頸部が不自然に湾曲することではなく、頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができるとともに、そのまま横臥したとしても、頭痛や腰痛、肩こりや首のこり、その他の体調不良の発生を防ぐことができる。枕は、使用者が横向きに横臥した状態から仰向けに仰臥した場合、底面から頂面までの高さ寸法が1.5～2.5cmの範囲にある中央第2クッションエリアに使用者の頭部が移動し、底面から中央第1頂面までの最大高さ寸法が7.5～8.5cmの範囲にある中央第1クッションエリアに使用者の頸部が移動するから、使用者の頭部及び頸部の高さが低くなったとしても、それら高さ寸法を有する中央第2クッションエリア及び中央第1クッションエリアに支持された使用者の頭部及び頸部が不自然に湾曲することではなく、頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができるとともに、そのまま仰臥したとしても、頭痛や腰痛、肩こりや首のこり、その他の体調不良の発生を防ぐことができる。

【0020】

中央第1クッションエリア及び両側第1クッションエリアの前後方向の長さ寸法が9.5～10.5cmの範囲、中央第2クッションエリア及び両側第2クッションエリアの前後方向の長さ寸法が19.5～20.5cmの範囲にあり、中央第1クッションエリア及び中央第2クッションエリアの幅方向の長さ寸法が23.5～24.5cmの範囲、両側第1クッションエリア及び両側第2クッションエリアの幅方向の長さ寸法が22.5～23.5cmの範囲にある枕は、前後方向の長さ寸法が9.5～10.5cmの範囲にあるとともに幅方向の長さ寸法が23.5～24.5cmの範囲にある中央第1クッションエリアに仰向けに仰臥した使用者の頸部全体が確実に支持され、前後方向の長さ寸法が19.5～20.5cmの範囲にあるとともに幅方向の長さ寸法が23.5～24.5cmの範囲にある中央第2クッションエリアに仰向けに仰臥した使用者の頭部全体が確実に支持されるから、それら長さ寸法を有する中央第2クッションエリア及び中央第1クッションエリアに支持された使用者の頭部及び頸部が不自然に湾曲することではなく、頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができる。枕は、前後方向の長さ寸法が9.5～10.5cmの範囲にあるとともに幅方向の長さ寸法が22.5～23.5cmの範囲にある両側第1クッションエリアに横向きに横臥した使用者の頸部全体が確実に支持され、前後方向の長さ寸法が19.5～20.5cmの範囲にあるとともに幅方向の長さ寸法が19.5～20.5cmの範囲にある両側第2クッションエリアに横向きに横臥した使用者の頭部全体が確実に支持されるから、それら長さ寸法を有する両側第2クッションエリア及び両側第1クッションエリアに支持された使用者の頭部及び頸部が不自然に湾曲することではなく、頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができる。

【0021】

通気透湿性及び柔軟性並びにクッション性を有して第1クッションエリアの頂面及び第2クッションエリアの頂面に載置するカバー部材を含み、カバー部材が、第1クッション

10

20

30

40

50

エリアの中央第1クッションエリア全域を被覆し、所定厚みのシート部材を収容する第1ポケットを備えた所定面積の中央第1カバーエリアと、第1クッションエリアの両側第1クッションエリア全域を被覆し、所定厚みのシート部材を収容する第2ポケットを備えた所定面積の両側第1カバーエリアと、第2クッションエリアの中央第2クッションエリア全域を被覆し、所定厚みのシート部材を収容する第3ポケットを備えた所定面積の中央第2カバーエリアと、第2クッションエリアの両側第2クッションエリア全域を被覆し、所定厚みのシート部材を収容する第4ポケットを備えた所定面積の両側第2カバーエリアとから形成されている枕は、通気透湿性及び柔軟性並びにクッション性を有するカバー部材によって枕の第1クッションエリアの頂面及び第2クッションエリアの頂面が被覆されるから、枕の汚れを防ぐことができるとともに、枕への雑菌や臭いの付着を防ぐことができる。枕は、中央第1カバーエリアの第1ポケットに所定厚みのシート部材を収容することで中央第1クッションエリアの高さ寸法を調節することができ、中央第2カバーエリアの第3ポケットに所定厚みのシート部材を収容することで中央第2クッションエリアの高さ寸法を調節することができるから、使用者の頭部や頸部のサイズによってそれらエリアの高さ寸法を合わせることができ、仰向けに仰臥した使用者の頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができる。枕は、両側第1カバーエリアの第2ポケットに所定厚みのシート部材を収容することで両側第1クッションエリアの高さ寸法を調節することができ、両側第2カバーエリアの第4ポケットに所定厚みのシート部材を収容することで両側第2クッションエリアの高さ寸法を調節することができるから、使用者の頭部や頸部のサイズによってそれらエリアの高さ寸法を合わせることができ、横向きに横臥した使用者の頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができる。

10

20

【0022】

中央第2クッションエリアの中央第2頂面に形成されて中央第2クッションエリアの上下方向の高さ寸法を嵩上げする柔軟な嵩上げ部材又は中央第2クッションエリアの中央第2頂面を冷却する冷却材或いは中央第2クッションエリアの中央第2頂面を加温する加温材を挿脱可能に収容する第5ポケットと、両側第2クッションエリアの両側第2頂面に形成されて両側第2クッションエリアの上下方向の高さ寸法を嵩上げする柔軟な嵩上げ部材又は両側第2クッションエリアの両側第2頂面を冷却する冷却材或いは両側第2クッションエリアの両側第2頂面を加温する加温材を挿脱可能に収容する一対の第6ポケットとを含む枕は、中央第2クッションエリアの第5ポケットに嵩上げ部材を収容することで、中央第2クッションエリアの上下方向の高さ寸法を嵩上げすることができるから、使用者の頭部や頸部のサイズによって中央第2クッションエリアの高さ寸法を調節することができ、仰向けに仰臥した使用者の頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができる。枕は、中央第2クッションエリアの第5ポケットに冷却材や加温材を収容することで、中央第2クッションエリアの中央第2頂面を冷却又は加温することができるから、夏場での使用時に枕の中央第2頂面を冷やすことができ、冬場での使用時に枕の中央第2頂面を温めることができ、枕を快適に使用することができる。枕は、両側第2クッションエリアのそれら第6ポケットに嵩上げ部材を収容することで、両側第2クッションエリアの高さ寸法を調節することができ、横向きに横臥した使用者の頭部や頸部の位置の理想的な状態を保持することができる。枕は、両側第2クッションエリアのそれら第6ポケットに冷却材や加温材を収容することで、両側第2クッションエリアの両側第2頂面を冷却又は加温することができるから、夏場での使用時に枕の両側第2頂面を冷やすことができ、冬場での使用時に枕の両側第2頂面を温めることができ、枕を快適に使用することができる。

30

40

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図1】一例として示す枕の斜視図。

【図2】枕の上面図。

【図3】枕の正面図。

【図4】枕の側面図。

【図5】枕の背面図。

50

【図 6】使用状態の一例を示す枕の上面図。

【図 7】図 6 の使用状態の枕の側面図。

【図 8】使用状態の他の一例を示す枕の上面図。

【図 9】図 8 の使用状態の枕の側面図。

【図 10】枕の頂面に掛けるカバー部材の一例を示す平面図。

【図 11】図 10 の A - A 線端面図。

【図 12】カバー部材を枕の頂面に載置したときのそれらの斜視図。

【図 13】他の一例として示す枕の斜視図。

【図 14】図 13 の枕の背面図。

【図 15】図 13 の枕の上面図。

10

【発明を実施するための形態】

【0024】

一例として示す枕 10 の斜視図である図 1 等の添付の図面を参照し、本発明に係る枕の詳細を説明すると、以下のとおりである。尚、図 2 は、枕 10 の上面図であり、図 3 は、枕 10 の正面図である。図 4 は、枕 10 の側面図であり、図 5 は、枕 10 の背面図である。図 1 では、前後方向を矢印 X、幅方向を矢印 Y で示し、上下方向を矢印 Z で示す。

【0025】

枕 10 は、その使用者 11 が寝臥時に使用する。枕 10 は、頂面 12 及び底面 13 を有して使用者 11 の頸部 14 を支持する所定面積の第 1 クッションエリア 15 と、頂面 16 及び底面 17 を有して使用者 11 の頭部 18 を支持する所定面積の第 2 クッションエリア 19 とを備えている。第 2 クッションエリア 19 は、第 1 クッションエリア 15 の前後方向前方に位置して第 1 クッションエリア 15 に繋がり、第 1 クッションエリア 15 と一体になっている。

20

【0026】

第 1 クッションエリア 15 は、その平面形状が幅方向へ長い矩形に成形されている。第 1 クッションエリア 15 は、仰向けに仰臥する使用者 11 の頸部 14 を支持する所定面積の中央第 1 クッションエリア 20 と、横向きに横臥する使用者 11 の頸部 14 を支持する所定面積の一对の両側第 1 クッションエリア 21 とから形成されている。中央第 1 クッションエリア 20 は、その平面形状が幅方向へ長い矩形に成形され、その底面 13 から頂面 12 に向かって上下方向上方へ膨隆している。

30

【0027】

中央第 1 クッションエリア 20 の頂面は、中央第 1 クッションエリア 20 の中心に向かって幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる一对の両側第 1 頂面 22 と、それら両側第 1 頂面 22 の間に位置する中央第 1 頂面 23 とを有する。中央第 1 クッションエリア 20 のそれら両側第 1 頂面 22 は、幅方向に離間対向して前後方向へ延びている。中央第 1 クッションエリア 20 の中央第 1 頂面 23 は、幅方向へ水平に延びるとともに、前後方向へ向かって上下方向上方へ凸となるように円弧を描いている。中央第 1 クッションエリア 20 の底面 13 は、前後方向及び幅方向へ水平に延びている。

【0028】

中央第 1 クッションエリア 20 は、その前後方向の長さ寸法 L1 が 9.5 ~ 10.5 cm の範囲にある。中央第 1 クッションエリア 20 の好ましい前後方向の長さ寸法 L1 は 10 cm である。中央第 1 クッションエリア 20 は、その底面 13 から中央第 1 頂面 23 (頂面 12) までの上下方向の最大高さ寸法 L2 が 7.5 ~ 8.5 cm の範囲にある。中央第 1 クッションエリア 20 の好ましい上下方向の最大高さ寸法 L2 は 8 cm である。中央第 1 クッションエリア 20 は、その幅方向の長さ寸法 L3 が 23.5 ~ 24.5 cm の範囲にある。中央第 1 クッションエリア 20 の好ましい幅方向の長さ寸法 L3 は 24 cm である。中央第 1 クッションエリア 20 の両側第 1 頂面 22 の幅方向の長さ寸法 L4 は、6.5 ~ 7.5 cm の範囲、好ましくは 7 cm であり、中央第 1 クッションエリア 20 の中央第 1 頂面 23 の幅方向の長さ寸法 L5 は、9.5 ~ 10.5 cm の範囲、好ましくは 10 cm である。

40

50

【 0 0 2 9 】

それら両側第 1 クッションエリア 2 1 は、中央第 1 クッションエリア 2 0 を挟んで中央第 1 クッションエリア 2 0 の幅方向一方と幅方向他方とに位置し、中央第 1 クッションエリア 2 0 に繋がって中央第 1 クッションエリア 2 0 と一体になっている。それら両側第 1 クッションエリア 2 1 は、同形同大であってその平面形状が幅方向へ長い矩形に成形され、その底面 1 3 から頂面 1 2 に向かって上下方向上方へ膨隆している。両側第 1 クッションエリア 2 1 の頂面 1 2 は、幅方向へ水平に延びるとともに、前後方向へ向かって上下方向上方へ凸となるように円弧を画いている。両側第 1 クッションエリア 2 1 の底面 1 3 は、前後方向及び幅方向へ水平に延びている。

【 0 0 3 0 】

両側第 1 クッションエリア 2 1 は、その前後方向の長さ寸法 L 6 が 9 . 5 ~ 1 0 . 5 c m の範囲にある。両側第 1 クッションエリア 2 1 の好ましい前後方向の長さ寸法 L 4 は 1 0 c m である。両側第 1 クッションエリア 2 1 は、その底面 1 3 から頂面 1 2 までの上下方向の最大高さ寸法 L 7 が 1 7 . 5 ~ 1 8 . 5 c m の範囲にある。両側第 1 クッションエリア 2 1 の好ましい最大高さ寸法 L 7 は 1 8 c m である。両側第 1 クッションエリア 2 1 は、その幅方向の長さ寸法 L 8 が 2 2 . 5 ~ 2 3 . 5 c m の範囲にある。両側第 1 クッションエリア 2 1 の好ましい幅方向の長さ寸法 L 8 は 2 3 c m である。枕 1 0 では、中央第 1 クッションエリア 2 0 の底面 1 3 から中央第 1 頂面 2 3 (頂面 1 2) までの上下方向の最大高さ寸法 L 2 が両側第 1 クッションエリア 2 1 の底面 1 3 から頂面 1 2 までの上下方向の最大高さ寸法 L 7 よりも低く、最大高さ寸法 L 2 と最大高さ寸法 L 7 との差が 1 0 c m である。

【 0 0 3 1 】

中央第 1 クッションエリア 2 0 及びそれら両側第 1 クッションエリア 2 1 は、それらエリア 2 0 , 2 1 が低反発弾性ウレタンフォームや高反発弾性ウレタンフォーム、ラテックスから作られている場合、又は、中央第 1 クッションエリア 2 0 と両側第 1 クッションエリア 2 1 とがそれぞれ区画されるように、それらエリア 2 0 , 2 1 が通気透湿性及び柔軟性を有する織物や編み物等の布地を縫製することで袋状に作られている場合がある。それらエリア 2 0 , 2 1 が低反発弾性ウレタンフォームや高反発弾性ウレタンフォーム、ラテックスから作られている場合は、それらエリア 2 0 , 2 1 (低反発弾性ウレタンフォームや高反発弾性ウレタンフォーム、ラテックス) の全体が通気透湿性及び柔軟性を有する織物や編み物等の布地から作られた枕カバーに包被される。

【 0 0 3 2 】

中央第 1 クッションエリア 2 0 と両側第 1 クッションエリア 2 1 とが袋状に作られている場合は、袋状の各エリア 2 0 , 2 1 に低反発弾性ウレタンフォーム小片や高反発弾性ウレタンフォーム小片、スマッシュフォーム、ポリエチレンパイプ小片、スチロールビーズ小片、そば殻、羽毛 (ダウン 8 0 % 異常) 、羽根 (フェザー 8 0 % 以上) 、ポリエチレンフレイク、ポリエステル綿、マイクロビーズ、ヒノキ、小豆のいずれかの中身素材が収容され、又は、それら中身素材のうちの少なくとも 2 種類をブレンドした混合材が収容される。尚、それら中身素材とともに、珪藻土を粉状に粉碎した吸湿性及び脱臭性を有する珪藻土粉末と、脱臭性及び殺菌性を有するミョウバン粉末と、殺菌性を有する酸化亜鉛粉末とのうちの少なくとも 1 つが袋状の各エリア 2 0 , 2 1 に収容されていてもよい。

【 0 0 3 3 】

第 2 クッションエリア 1 9 は、その平面形状が幅方向へ長い矩形に成形されている。第 2 クッションエリア 1 9 は、仰向けに仰臥する使用者 1 1 の頭部 1 8 を支持する所定面積の中央第 2 クッションエリア 2 4 と、横向きに横臥する使用者 1 1 の頭部 1 4 を支持する所定面積の一对の両側第 2 クッションエリア 2 5 とから形成されている。中央第 2 クッションエリア 2 4 は、中央第 1 クッションエリア 2 0 の前後方向前方に位置し、その平面形状が幅方向へ長い矩形に成形され、その底面 1 7 から頂面 1 6 に向かって上下方向上方へ膨隆している。

【 0 0 3 4 】

中央第2クッションエリア24の頂面16は、中央第2クッションエリア24の中心に向かって幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる一対の両側第2頂面26と、それら両側第2頂面26の間に位置する中央第2頂面27とを有する。中央第2クッションエリア24の両側第2頂面26は、幅方向に離間対向して前後方向へ延びている。中央第2クッションエリア24の中央第2頂面27は、前後方向及び幅方向へ水平に延びている。中央第2クッションエリア24の底面17は、前後方向及び幅方向へ水平に延びている。

【0035】

中央第2クッションエリア24は、その前後方向の長さ寸法L9が19.5～20.5cmの範囲にある。中央第2クッションエリア24の好ましい前後方向の長さ寸法L9は20cmである。中央第2クッションエリア24は、その底面17から頂面16までの上下方向の高さ寸法L10が1.5～2.5cmの範囲にある。中央第2クッションエリア24の好ましい上下方向の高さ寸法L10は2cmである。中央第2クッションエリア24は、その幅方向の長さ寸法L11が23.5～24.5cmの範囲にある。中央第2クッションエリア24の好ましい幅方向の長さ寸法L11は24cmである。中央第2クッションエリア24の両側第2頂面26の幅方向の長さ寸法L12は、6.5～7.5cmの範囲、好ましくは7cmであり、中央第2クッションエリア24の中央第1頂面27の幅方向の長さ寸法L13は、9.5～10.5cmの範囲、好ましくは10cmである。

【0036】

それら両側第2クッションエリア26は、両側第1クッションエリア21の前後方向前方に位置しつつ、中央第2クッションエリア24を挟んで中央第2クッションエリア24の幅方向一方と幅方向他方とに位置している。両側第2クッションエリア26は、両側第1クッションエリア21及び中央第2クッションエリア24に繋がり、両側第1クッションエリア21及び中央第2クッションエリア24と一体になっている。それら両側第2クッションエリア26は、同形同大であってその平面形状が幅方向へ長い矩形に成形され、その底面17から頂面16に向かって上下方向上方へ膨隆している。両側第2クッションエリア26の頂面16は、前後方向及び幅方向へ水平に延びている。両側第2クッションエリア26の底面17は、前後方向及び幅方向へ水平に延びている。

【0037】

両側第2クッションエリア25は、その前後方向の長さ寸法L14が19.5～20.5cmの範囲にある。両側第2クッションエリア25の好ましい前後方向の長さ寸法L14は20cmである。両側第2クッションエリア25は、その底面17から頂面16までの上下方向の高さ寸法L15が15.5～16.5cmの範囲にある。両側第2クッションエリア25の好ましい最大高さ寸法L15は16cmである。両側第2クッションエリア25は、その幅方向の長さ寸法L16が22.5～23.5cmの範囲にある。両側第2クッションエリア25の好ましい幅方向の長さ寸法L16は23cmである。

【0038】

両側第2クッションエリア25には、幅方向へ離間対向して前後方向へ延びる一対のストッパー部材33が配置されている。それら一対のストッパー部材33は、両側第2クッションエリア25の中央第2クッションエリア24に隣接する（両側第2頂面26に隣接する）内側縁に位置し、両側第2クッションエリア25の頂面16から上方へ凸となるように隆起して前後方向へ直状に延びている。ストッパー部材33は、両側第2クッションエリア25の頂面16に縫製によって取り付けられている。ストッパー部材33には、ウレタンフォームを使用することが好ましいが、厚手の織物や編み物の生地を使用することもできる。尚、ストッパー部材33を枕10と一体成形することもできる。ストッパー部材33の上下方向の高さ寸法は、1～2.5cmの範囲にある。

【0039】

枕10では、中央第2クッションエリア24の底面17から頂面16までの上下方向の高さ寸法L10が中央第1クッションエリア20の底面13から中央第1頂面23（頂面12）までの上下方向の最大高さ寸法L2よりも低く、両側第2クッションエリア25の底面17から頂面16までの上下方向の高さ寸法L15よりも低い。最大高さ寸法L2と高

10

20

30

40

50

さ寸法 L 1 0 との差が 6 c m であり、高さ寸法 L 1 5 と高さ寸法 L 1 0 との差が 1 4 c m である。枕 1 0 では、中央第 2 クッションエリア 2 4 の前後方向の長さ寸法 L 9 が中央第 1 クッションエリア 2 0 の前後方向の長さ寸法 L 1 よりも長く、両側第 2 クッションエリア 2 5 の前後方向の長さ寸法 L 1 4 が両側第 1 クッションエリア 2 1 の前後方向の長さ寸法 L 4 よりも長い。長さ寸法 L 1 と長さ寸法 L 9 との差が 1 0 c m であり、長さ寸法 L 4 と長さ寸法 L 1 4 との差が 1 0 c m である。

【 0 0 4 0 】

中央第 2 クッションエリア 2 4 及びそれら両側第 2 クッションエリア 2 5 は、それらエリア 2 4 , 2 5 が低反発弾性ウレタンフォームや高反発弾性ウレタンフォーム、ラテックスから作られている場合、又は、中央第 2 クッションエリア 2 4 と両側第 2 クッションエリア 2 5 とがそれぞれ区画されるように、それらエリア 2 4 , 2 5 が通気透湿性及び柔軟性を有する織物や編み物等の布地を縫製することで袋状に作られている場合がある。それらエリア 2 4 , 2 5 が低反発弾性ウレタンフォームや高反発弾性ウレタンフォーム、ラテックスから作られている場合は、それらエリア 2 4 , 2 5 (低反発弾性ウレタンフォームや高反発弾性ウレタンフォーム、ラテックス) の全体が通気透湿性及び柔軟性を有する織物や編み物等の布地から作られた枕カバーに包被される。

【 0 0 4 1 】

中央第 2 クッションエリア 2 4 と両側第 2 クッションエリア 2 5 とが袋状に作られている場合は、袋状の各エリア 2 4 , 2 5 に低反発弾性ウレタンフォーム小片や高反発弾性ウレタンフォーム小片、スマッシュフォーム、ポリエチレンパイプ小片、スチロールビーズ小片、そば殻、羽毛 (ダウン 8 0 % 異常) 、羽根 (フェザー 8 0 % 以上) 、ポリエチレンフレイク、ポリエステル綿、マイクロビーズ、ヒノキ、小豆のいずれかの中身素材が収容され、又は、それら中身素材のうちの少なくとも 2 種類をブレンドした混合材が収容される。尚、それら中身素材とともに、珪藻土を粉状に粉碎した吸湿性及び脱臭性を有する珪藻土粉末と、脱臭性及び殺菌性を有するミョウバン粉末と、殺菌性を有する酸化亜鉛粉末とのうちの少なくとも 1 つが袋状の各エリア 2 4 , 2 5 に収容されていてもよい。

【 0 0 4 2 】

枕 1 0 では、中央第 1 クッションエリア 2 0 及び中央第 2 クッションエリア 2 4 が高反発弾性ウレタンフォームから形成され、それら両側第 1 クッションエリア 2 1 及びそれら両側第 2 クッションエリア 2 5 が低反発弾性ウレタンフォームから形成された場合、中央第 1 クッションエリア 2 0 及び中央第 2 クッションエリア 2 4 が高反発エリアになり、それら両側第 1 クッションエリア 2 1 及びそれら両側第 2 クッションエリア 2 5 が低反発エリアになる。

【 0 0 4 3 】

この場合、中央第 1 クッションエリア 2 0 が使用者 1 1 の頸部 1 4 をしっかりと支持しつつ、中央第 2 クッションエリア 2 4 が使用者 1 1 の頭部 1 8 をしっかりと支持し、仰向けに仰臥する使用者の頭部 1 8 及び頸部 1 4 を安定させることができ、使用者 1 1 が中央第 1 クッションエリア 2 0 及び中央第 2 クッションエリア 2 4 において寝返りを打ち易くなる。又、両側第 1 クッションエリア 2 1 が使用者 1 1 の頸部 1 4 を包み込むように支持しつつ、両側第 2 クッションエリア 2 5 が使用者 1 1 の頭部 1 8 を包み込むように支持し、横向きに横臥する使用者の頭部 1 8 及び頸部 1 4 が両側第 1 クッションエリア 2 1 や両側第 2 クッションエリア 2 5 にフィットする。

【 0 0 4 4 】

図 6 は、使用状態の一例を示す枕 1 0 の上面図であり、図 7 は、図 6 の使用状態の枕 1 0 の側面図である。図 6 , 7 では、仰向けに仰臥した使用者 1 1 がその頭部 1 8 及び頸部 1 4 を枕 1 0 に載せている。枕 1 0 の使用者 1 1 は、それを使用して寝臥する場合、枕 1 0 をベッドの上又は床に置き、図 6 に示すように、仰向けに仰臥する使用者 1 1 がその頭部 1 8 を中央第 2 クッションエリア 2 4 に置き、使用者 1 1 がその頸部 1 4 を中央第 1 クッションエリア 2 0 に置く。

【 0 0 4 5 】

10

20

30

40

50

使用者 11 がその頭部 18 を中央第 2 クッションエリア 24 に置き、その頸部 14 を中央第 1 クッションエリア 20 に置くと、中央第 2 クッションエリア 24 の幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第 2 頂面 26 と幅方向へ水平に延びる中央第 2 頂面 27 とが使用者 11 の頭部 18 を包み込むように支持し、中央第 1 クッションエリア 20 の幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第 1 頂面 22 と幅方向へ水平に延びる中央第 1 頂面 23 とが使用者 11 の頸部 14 を包み込むように支持する。

【0046】

使用者 11 が仰向けに仰臥した場合、使用者 11 が横向きに横臥した場合と比較し、使用者 11 の頭部 18 及び頸部 14 の高さが低くなるが、底面 13 から中央第 1 頂面 23 までの上下方向の最大高さ寸法 L2 が 7.5 ~ 8.5 cm の範囲（好ましくは、8 cm）にある中央第 1 クッションエリア 20 に使用者 11 の頸部 14 が位置し、底面 17 から頂面 16 までの上下方向の高さ寸法 L10 が 1.5 ~ 2.5 cm の範囲（好ましくは、2 cm）にある中央第 2 クッションエリア 24 に使用者 11 の頭部 18 が位置するから、枕 10 の上において頭部 18 と頸部 14 との高さが最適に保持され、使用者 11 の頸部 14 が不自然に湾曲することではなく、枕 10 における使用者 11 の頭部 18 や頸部 14 の位置が理想的な状態に保持される。使用者 11 は、仰向けに仰臥しつつ、その頭部 18 を中央第 2 クッションエリア 24 の上に載置し、その頸部 14 を中央第 1 クッションエリア 20 の上に載置した状態で睡眠をとる。

【0047】

枕 10 は、それを使用して使用者 11 が仰向けに仰臥したときに、中央第 2 クッションエリア 24 の幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第 2 頂面 26 と幅方向へ水平に延びる中央第 2 頂面 27 とが使用者 11 の頭部 18 を包み込むように支持し、中央第 1 クッションエリア 20 の幅方向内方へ下り勾配に傾斜して延びる両側第 1 頂面 22 と幅方向へ水平に延びる中央第 1 頂面 23 とが使用者 11 の頸部 14 を包み込むように支持するから、使用者 11 の頭部 18 の中央第 1 クッションエリア 20 から両側第 1 クッションエリア 21 への不用意な移動を防ぐことができ、使用者 11 の頸部 14 の中央第 2 クッションエリア 24 から両側第 2 クッションエリア 25 への不用意な移動を防ぐことができ、仰向けに仰臥した使用者 11 の頭部 18 を中央第 1 クッションエリア 20 に保持するとともに仰向けに仰臥した使用者 11 の頸部 14 を中央第 2 クッションエリア 24 に保持することで、使用者 11 の頭部 18 や頸部 14 の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができる。枕 10 は、それを使用して使用者 11 が仰向けに仰臥しているときに、使用者 11 の頸部 14 が前後方向へ向かって弧を描く中央第 1 クッションエリア 20 に支持されることで、使用者 11 の頸椎 14 の前方に湾曲（前弯）状態（使用者 11 の頸椎の通常のあるべき状態）を保持することができる。

【0048】

枕 10 は、仰向けに仰臥した使用者 11 の頸部 14 が前後方向へ向かって弧を描く中央第 1 クッションエリア 20 の中央第 1 頂面 23 に支持されるから、使用者 11 の頸部 14 が中央第 1 クッションエリア 20 に点で支えられ、中央第 1 クッションエリア 20 が使用者 11 の頸部 14 を圧迫することではなく、仰向けに仰臥した使用者 11 の頸部 14 を中央第 1 クッションエリア 20 が圧迫することによる不快感を防ぐことができる。

【0049】

枕 10 は、前後方向の長さ寸法 L1 が 9.5 ~ 10.5 cm の範囲にあるとともに幅方向の長さ寸法 L3 が 23.5 ~ 24.5 cm の範囲にある中央第 1 クッションエリア 20 に仰向けに仰臥した使用者 11 の頸部 14 全体が確実に支持され、前後方向の長さ寸法 L9 が 19.5 ~ 20.5 cm の範囲にあるとともに幅方向の長さ寸法 L11 が 23.5 ~ 24.5 cm の範囲にある中央第 2 クッションエリア 24 に仰向けに仰臥した使用者 11 の頭部 18 全体が確実に支持されるから、それら長さ寸法 L1, L3, L9, L11 を有する中央第 2 クッションエリア 24 及び中央第 1 クッションエリア 20 に支持された使用者 11 の頭部 18 及び頸部 14 が不自然に湾曲することではなく、頭部 18 や頸部 14 の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができる。

【 0 0 5 0 】

枕 1 0 は、両側第 2 クッションエリア 2 5 の内側縁から上方へ隆起する一対のストッパー部材 3 3 によって仰向けに仰臥した使用者 1 1 の頭部 1 8 が押さえられ、使用者 1 1 の頭部 1 8 及び頸部 1 4 を中央第 1 クッションエリア 2 0 及び中央第 2 クッションエリア 2 4 に位置させることができ、仰向けに仰臥した使用者 1 1 の頭部 1 8 や頸部 1 4 の両側第 1 クッションエリア 2 1 や両側第 2 クッションエリア 2 5 への不用意な移動を防ぐことができる。また、仰向けに仰臥した使用者 1 1 の頭部 1 8 や頸部 1 4 の位置の理想的な状態を保持することができる。

【 0 0 5 1 】

図 8 は、使用状態の他の一例を示す枕 1 0 の上面図であり、図 9 は、図 8 の使用状態の枕 1 0 の側面図である。図 8 , 9 では、横向きに横臥した使用者 1 1 がその頭部 1 8 及び頸部 1 4 を枕 1 0 に載せている。図 6 , 7 に示す仰向けに仰臥した使用者 1 1 が寝返りを打ち、仰向けに仰臥した状態から横向きに横臥すると、図 8 , 9 に示すように、使用者 1 1 の頭部 1 8 が中央第 2 クッションエリア 2 4 からそれら両側第 2 クッションエリア 2 5 のいずれか一方に移動し、使用者 1 1 の頸部 1 4 が中央第 1 クッションエリア 2 0 からそれら両側第 1 クッションエリア 2 1 のいずれか一方に移動する。

10

【 0 0 5 2 】

両側第 2 クッションエリア 2 5 の底面 1 7 から頂面 1 6 までの上下方向の高さ寸法 L 1 5 (1 5 . 5 ~ 1 6 . 5 c m の範囲、好ましくは、1 6 c m) が中央第 2 クッションエリア 2 4 の底面 1 7 から頂面 1 6 までの上下方向の高さ寸法 L 1 0 (1 . 5 ~ 2 . 5 c m の範囲、好ましくは、2 c m) よりも高く、両側第 1 クッションエリア 2 1 の底面 1 3 から中央第 2 頂面 2 7 (頂面 1 2) までの上下方向の最大高さ寸法 L 7 (1 7 . 5 ~ 1 8 . 5 c m の範囲、好ましくは、1 8 c m) が中央第 1 クッションエリア 2 0 の底面 1 3 から中央第 1 頂面 2 3 (頂面 1 2) までの上下方向の最大高さ寸法 L 2 (7 . 5 ~ 8 . 5 c m の範囲、好ましくは、8 c m) よりも高いから、横向きに横臥する使用者 1 1 の肩部 2 8 の高さが両側第 1 クッションエリア 2 1 及び両側第 2 クッションエリア 2 5 の高さによって吸収される。

20

【 0 0 5 3 】

枕 1 0 は、使用者 1 1 が仰向けに仰臥した状態から横向きに横臥した場合、底面 1 7 から頂面 1 6 までの高さ寸法 L 1 5 が 1 5 . 5 ~ 1 6 . 5 c m の範囲にある両側第 2 クッションエリア 2 5 のいずれか一方に使用者 1 1 の頭部 1 8 が移動し、底面 1 3 から両側第 2 頂面 2 6 (頂面 1 2) までの最大高さ寸法 L 7 が 1 7 . 5 ~ 1 8 . 5 c m の範囲にある両側第 1 クッションエリア 2 1 のいずれか一方に使用者 1 1 の頸部 1 4 が移動し、使用者 1 1 の肩部 2 8 の高さが両側第 1 クッションエリア 2 1 及び両側第 2 クッションエリア 2 5 の高さによって吸収されるから、それら高さ寸法 L 7 , L 1 5 を有する両側第 2 クッションエリア 2 5 及び両側第 1 クッションエリア 2 1 に支持された使用者 1 1 の頭部 1 8 及び頸部 1 4 が不自然に湾曲することではなく、頭部 1 8 や頸部 1 4 の位置の理想的な状態を保持することができる。また、質の良い睡眠を得ることができる。枕 1 0 は、それを使用して使用者が横向きに横臥しているときに、使用者の頸部が前後方向へ向かって弧を描く両側第 1 クッションエリア 2 1 に支持されることで、使用者 1 1 の背骨と頸椎との直線形状を保持することができる。また、使用者 1 1 の神経の圧迫を確実に防ぐことができる。

30

40

【 0 0 5 4 】

枕 1 0 は、横向きに横臥した使用者 1 1 の頸部 1 4 が前後方向へ向かって弧を描く両側第 1 クッションエリア 2 1 の両側第 1 頂面 2 2 (頂面 1 2) に支持されるから、使用者 1 1 の頸部 1 4 が両側第 1 クッションエリア 2 1 に点で支えられ、両側第 1 クッションエリア 2 1 が使用者 1 1 の頸部 1 4 を圧迫することではなく、横向きに横臥した使用者 1 1 の頸部 1 4 を両側第 1 クッションエリア 2 1 が圧迫することによる不快感を防ぐことができる。

【 0 0 5 5 】

枕 1 0 は、前後方向の長さ寸法 L 6 が 9 . 5 ~ 1 0 . 5 c m の範囲にあるとともに幅方

50

向の長さ寸法 L 8 が 22.5 ~ 23.5 cm の範囲にある両側第 1 クッションエリア 2 1 に横向きに横臥した使用者 1 1 の頸部 1 4 全体が確実に支持され、前後方向の長さ寸法 L 1 4 が 19.5 ~ 20.5 cm の範囲にあるとともに幅方向の長さ寸法 L 1 6 が 19.5 ~ 20.5 cm の範囲にある両側第 2 クッションエリア 2 5 に横向きに横臥した使用者 1 1 の頸部 1 8 全体が確実に支持されるから、それら長さ寸法 L 6 , L 8 , L 1 4 , L 1 6 を有する両側第 2 クッションエリア 2 5 及び両側第 1 クッションエリア 2 1 に支持された使用者 1 1 の頸部 1 8 及び頸部 1 4 が不自然に湾曲することではなく、頸部 1 8 や頸部 1 4 の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができる。

【0056】

枕 1 0 は、両側第 2 クッションエリア 2 5 の内側縁から上方へ隆起する一対のストッパ一部材 3 3 によって横向きに横臥した使用者 1 1 の頸部 1 8 が押さえられ、使用者 1 1 の頸部 1 8 及び頸部 1 4 を両側第 1 クッションエリア 2 1 及び両側第 2 クッションエリア 2 5 に位置させることができ、横向きに横臥した使用者 1 1 の頸部 1 8 や頸部 1 4 の中央第 1 クッションエリア 2 0 や中央第 2 クッションエリア 2 4 への不用意な移動を防ぐことができるとともに、横向きに横臥した使用者 1 1 の頸部 1 8 や頸部 1 4 の位置の理想的な状態を保持することができる。

【0057】

図 8 , 9 に示す横向きに横臥した使用者 1 1 が寝返りを打ち、横向きに横臥した状態から仰向けに仰臥すると、図 6 , 7 に示すように、使用者 1 1 の頸部 1 8 が両側第 2 クッションエリア 2 5 のいずれか一方から中央第 2 クッションエリア 2 4 に移動し、使用者 1 1 の頸部 1 4 が両側第 1 クッションエリア 2 1 のいずれか一方から中央第 1 クッションエリア 2 0 に移動する。

【0058】

横向きに横臥した状態から仰向けに仰臥した場合、使用者 1 1 の頸部 1 8 及び頸部 1 4 の高さが低くなるが、中央第 2 クッションエリア 2 4 の底面 1 7 から頂面 1 6 までの上下方向の高さ寸法 L 1 0 (1.5 ~ 2.5 cm の範囲、好ましくは、2 cm) が両側第 2 クッションエリア 2 5 の底面 1 7 から頂面 1 6 までの上下方向の高さ寸法 L 1 5 (15.5 ~ 16.5 cm の範囲、好ましくは、16 cm) よりも低く、中央第 1 クッションエリア 2 0 の底面 1 3 から中央第 1 頂面 2 3 までの上下方向の最大高さ寸法 L 2 (7.5 ~ 8.5 cm の範囲、好ましくは、8 cm) が両側第 1 クッションエリア 2 1 の底面 1 3 から両側第 1 頂面 2 2 までの上下方向の最大高さ寸法 L 7 (17.5 ~ 18.5 cm の範囲、好ましくは、18 cm) よりも低く、前記最大高さ寸法 L 2 の中央第 1 クッションエリア 2 0 に使用者 1 1 の頸部 1 4 が位置し、前記高さ寸法 L 1 0 の中央第 2 クッションエリア 2 4 に使用者 1 1 の頸部 1 8 が位置するから、枕 1 0 の上において頸部 1 8 と頸部 1 4 との高さが最適に保持され、使用者 1 1 の頸部 1 8 や頸部 1 4 が不自然に湾曲することではなく、枕 1 0 における使用者 1 1 の頸部 1 8 や頸部 1 4 の位置が理想的な状態に保持される。

【0059】

枕 1 0 は、使用者 1 1 が横向きに横臥した状態から仰向けに仰臥した場合、底面 1 7 から頂面 1 6 までの高さ寸法 L 1 0 が 1.5 ~ 2.5 cm の範囲にある中央第 2 クッションエリア 2 4 に使用者 1 1 の頸部 1 8 が移動し、底面 1 3 から中央第 1 頂面 2 2 までの最大高さ寸法 L 2 が 7.5 ~ 8.5 cm の範囲にある中央第 1 クッションエリア 2 0 に使用者 1 1 の頸部 1 4 が移動するから、使用者 1 1 の頸部 1 8 及び頸部 1 4 の高さが低くなったとしても、それら高さ寸法 L 2 , L 1 0 を有する中央第 2 クッションエリア 2 4 及び中央第 1 クッションエリア 2 0 に支持された使用者 1 1 の頸部 1 8 及び頸部 1 4 が不自然に湾曲することではなく、頸部 1 8 や頸部 1 4 の位置の理想的な状態を保持することができ、質の良い睡眠を得ることができるとともに、そのまま仰臥したとしても、頭痛や腰痛、肩こりや首のこり、その他の体調不良の発生を防ぐことができる。

【0060】

図 1 0 は、枕 1 0 の頂面 1 2 , 1 6 に掛けるカバー部材 2 9 の一例を示す平面図であり、図 1 1 は、図 1 0 の A - A 線端面図である。図 1 2 は、カバー部材 2 9 を枕 1 0 の頂面

10

20

30

40

50

１２，１６に載置したときのそれらの斜視図である。枕１０は、第１クッションエリア１５の頂面１２及び第２クッションエリア１９の頂面１６に載置するカバー部材２９を有する。

【００６１】

カバー部材２９は、通気透湿性を有する織物や編み物等の布地を縫製することから作られた袋３０と、その袋３０に挿脱可能に収容された通気透湿性及び柔軟性並びにクッション性を有するクッション部材３１とから形成されている。クッション部材３１は、綿又は各種のウレタンフォームから作られ、袋３０（カバー部材２９）の全域に配置されている。

【００６２】

カバー部材２９は、図１２に示すように、それを枕１０の頂面１２，１６に載置したときに、枕１０の第１クッションエリア１５の中央第１クッションエリア２０全域を被覆する所定面積の中央第１カバーエリア３４と、第１クッションエリア１５の両側第１クッションエリア２１全域を被覆する所定面積の一对の両側第１カバーエリア３５と、第２クッションエリア１９の中央第２クッションエリア２４全域を被覆する所定面積の中央第２カバーエリア３６と、第２クッションエリア１９の両側第２クッションエリア２５全域を被覆する所定面積の一对の両側第２カバーエリア３７とから形成されている。

10

【００６３】

中央第１カバーエリア３４におけるクッション部材３１の下方には、所定厚みのシート部材３８を挿脱可能に収容する第１ポケット３９が作られている。第１ポケット３９は、袋３０を形成する布地を縫製することから作られている。それら両側第１カバーエリア３５におけるクッション部材３１の下方には、所定厚みのシート部材３８を挿脱可能に収容する一对の第２ポケット４０が作られている。第２ポケット４０は、袋３０を形成する布地を縫製することから作られている。中央第２カバーエリア３６におけるクッション部材３１の下方には、所定厚みのシート部材３８を挿脱可能に収容する第３ポケット４１が作られている。第３ポケット４１は、袋３０を形成する布地を縫製することから作られている。それら両側第２カバーエリア３７におけるクッション部材３１の下方には、所定厚みのシート部材３８を挿脱可能に収容する一对の第４ポケット４２が作られている。第４ポケット４２は、袋３０を形成する布地を縫製することから作られている。

20

【００６４】

それらポケット３９～４２に収容するシート部材３８としては、使用者１１の頭部１８や頸部１４を冷やす場合、冷却シート（冷却ジェルシート）や接所冷感タオル（接触冷却タオル）、接触冷感生地から作られた各種の接触冷感布等を使用することが好ましい。使用者１１の頭部１８や頸部１４を温める場合、温感シートや温感タオル、保温シート、保温布等を使用することが好ましい。尚、シート部材３８としてウレタンフォームや織物、編み物を使用することもできる。シート部材３８として頭部１８や頸部１４を冷やす素材を使用することで、枕１０を利用して仰向けに仰臥し又は横向きに横臥する利用者１１の頭部１８や頸部１４を冷やすことができる。シート部材３８として頭部１８や頸部１４を温める素材を使用することで、枕１０を利用して仰向けに仰臥し又は横向きに横臥する利用者１１の頭部１８や頸部１４を温めることができる。

30

【００６５】

第１ポケット３９にそれらシート部材３８を収容することで、カバー部材２９の中央第１カバーエリア３４の高さ寸法（嵩）が調節され、カバー部材２９を載置した枕１０の中央第１クッションエリア２０の高さ寸法Ｌ２が調節される。第２ポケット４０にそれらシート部材３８を収容することで、カバー部材２９の両側第１カバーエリア３５の高さ寸法（嵩）が調節され、カバー部材２９を載置した枕１０の両側第１クッションエリア２１の最大高さ寸法Ｌ７が調節される。第３ポケット４１にそれらシート部材３８を収容することで、カバー部材２９の中央第２カバーエリア３６の高さ寸法（嵩）が調節され、カバー部材２９を載置した枕１０の中央第２クッションエリア２４の高さ寸法Ｌ１０が調節される。第４ポケット４２にそれらシート部材３８を収容することで、カバー部材２９の両側第２カバーエリア３７の高さ寸法（嵩）が調節され、カバー部材２９を載置した枕１０の

40

50

両側第 2 クッションエリア 2 5 の高さ寸法 L 1 5 が調節される。

【 0 0 6 6 】

枕 1 0 は、通気透湿性及び柔軟性並びにクッション性を有するカバー部材 2 9 によって枕の第 1 クッションエリア 1 5 の頂面 1 2 及び第 2 クッションエリア 1 9 の頂面 1 6 が被覆されるから、枕 1 0 の汚れを防ぐことができるとともに、枕 1 0 への雑菌や臭いの付着を防ぐことができる。枕 1 0 は、中央第 1 カバーエリア 3 4 の第 1 ポケット 3 9 に所定厚みのシート部材 3 8 を収容することで中央第 1 クッションエリア 2 0 の最大高さ寸法 L 2 を調節することができ、中央第 2 カバーエリア 3 6 の第 3 ポケット 4 1 に所定厚みのシート部材 3 8 を収容することで中央第 2 クッションエリア 2 4 の高さ寸法 L 1 0 を調節することができるから、使用者 1 1 の頭部 1 8 や頸部 1 4 のサイズによってそれらエリア 2 0 , 2 4 の高さ寸法を合わせることができ、仰向けに仰臥した使用者 1 1 の頭部 1 8 や頸部 1 4 の位置の理想的な状態を保持することができる。

10

【 0 0 6 7 】

枕 1 0 は、両側第 1 カバーエリア 3 5 の第 2 ポケット 4 0 に所定厚みのシート部材 3 8 を収容することで両側第 1 クッションエリア 2 1 の最大高さ寸法 L 7 を調節することができ、両側第 2 カバーエリア 3 7 の第 4 ポケット 4 2 に所定厚みのシート部材 3 8 を収容することで両側第 2 クッションエリア 2 5 の高さ寸法 L 1 5 を調節することができるから、使用者 1 1 の頭部 1 8 や頸部 1 4 のサイズによってそれらエリア 2 0 , 2 1 , 2 4 , 2 5 の高さ寸法 L 2 , L 7 , L 1 0 , L 1 5 を合わせることができ、横向きに横臥した使用者 1 1 の頭部 1 8 や頸部 1 4 の位置の理想的な状態を保持することができる。

20

【 0 0 6 8 】

図 1 3 は、他の一例として示す枕 4 3 の斜視図であり、図 1 4 は、図 1 3 の枕 4 3 の背面図である。図 1 5 は、図 1 3 の枕 4 3 の上面図である。図 1 3 に示す枕 4 3 が図 1 に示すそれと異なるところは、中央第 2 クッションエリア 2 4 の中央第 2 頂面 2 7 に第 5 ポケット 4 4 が形成され、両側第 2 クッションエリア 2 5 の両側第 2 頂面 2 6 に一對の第 6 ポケット 4 5 が形成されている点にあり、その他の構成は図 1 の枕 1 0 のそれらと同一であるから、図 1 の説明を援用するとともに図 1 と同様の符号を付すことで、この枕 4 3 のその他の構成の詳細な説明は省力する。

【 0 0 6 9 】

枕 4 3 は、その使用者 1 1 が寝臥時に使用する（図 6 参照）。枕 4 3 は、頂面 1 2 及び底面 1 3 を有して使用者 1 1 の頸部 1 4 を支持する所定面積の第 1 クッションエリア 1 5 と、頂面 1 6 及び底面 1 7 を有して使用者 1 1 の頭部 1 8 を支持する所定面積の第 2 クッションエリア 1 9 とを備えている。第 1 クッションエリア 1 5 は、その平面形状が幅方向へ長い矩形に成形されている。第 1 クッションエリア 1 5 は、仰向けに仰臥する使用者 1 1 の頸部 1 4 を支持する所定面積の中央第 1 クッションエリア 2 0 と、横向きに横臥する使用者 1 1 の頸部 1 4 を支持する所定面積の一對の両側第 1 クッションエリア 2 1 とから形成されている。

30

【 0 0 7 0 】

第 2 クッションエリア 1 9 は、その平面形状が幅方向へ長い矩形に成形されている。第 2 クッションエリア 1 9 は、仰向けに仰臥する使用者 1 1 の頭部 1 8 を支持する所定面積の中央第 2 クッションエリア 2 4 と、横向きに横臥する使用者 1 1 の頭部 1 4 を支持する所定面積の一對の両側第 2 クッションエリア 2 5 とから形成されている。中央第 2 クッションエリア 2 4 の中央第 2 頂面 2 7 には、所定容積の第 5 ポケット 4 4 が形成されている（作られている）。第 5 ポケット 4 4 は、その形状が中央第 2 クッションエリア 2 4 の中央第 2 頂面 2 7 と同様の前後方向へ長い矩形であり、その大きさが中央第 2 頂面 2 7 のそれと略同様である。

40

【 0 0 7 1 】

第 5 ポケット 4 4 は、前後方向後方へ開口する開口部 4 6 と、前後方向へ長い矩形の収容部 4 7 とを有する。第 5 ポケット 4 4 の収容部 4 7 には、中央第 2 クッションエリア 2 4 の上下方向の高さ寸法を嵩上げする柔軟な嵩上げ部材（図示せず）、又は、中央第 2 ク

50

ッションエリア 2 4 の中央第 2 頂面 2 7 を冷却する冷却材（図示せず）、或いは、中央第 2 クッションエリア 2 4 の中央第 2 頂面 2 7 を加温する加温材（図示せず）が挿脱可能に収容される。

【 0 0 7 2 】

両側第 2 クッションエリア 2 5 の両側第 2 頂面 2 6 には、所定容積の一对の第 6 ポケット 4 5 が形成されている（作られている）。それら第 6 ポケット 4 5 は、その形状が両側第 2 クッションエリア 2 5 の両側第 2 頂面 2 6 と同様の前後方向へ長い矩形であり、その大きさが両側第 2 頂面 2 6 のそれと略同様である。それら第 6 ポケット 4 5 は、前後方向後方へ開口する開口部 4 6 と、前後方向へ長い矩形の収容部 4 7 とを有する。第 6 ポケット 4 5 の収容部 4 7 には、両側第 2 クッションエリア 2 5 の上下方向の高さ寸法を嵩上げる柔軟な嵩上げ部材 2 5、又は、両側第 2 クッションエリア 2 5 の両側第 2 頂面 2 6 を冷却する冷却材 2 5、或いは、両側第 2 クッションエリア 2 5 の両側第 2 頂面 2 6 を加温する加温材 2 5 が挿脱可能に収容される。

10

【 0 0 7 3 】

嵩上げ部材としては、低反発弾性ウレタンフォームや高反発弾性ウレタンフォーム、ラテックス、織物や編み物等の布地を使用することができる。冷却材としては、高含水性基剤を使用した含水率 8 5 % 以上のシートであってシートに含まれる水分が熱を取り込みながら蒸発する吸熱シート又は水枕等を使用することができる。加温材としては、酸化反応を利用した使い捨てカイロ又は懐炉等を使用することができる。

【 0 0 7 4 】

図 1 3 の枕 4 3 は、図 1 の枕 1 0 が有する効果に加え、以下の効果を有する。枕 4 3 は、中央第 2 クッションエリア 2 4 の第 5 ポケット 4 4 に嵩上げ部材を収容することで、中央第 2 クッションエリア 2 4 の上下方向の高さ寸法を嵩上げすることができるから、使用者の頭部や頸部のサイズによって中央第 2 クッションエリア 2 4 の高さ寸法を調節することができる。枕 4 3 は、中央第 2 クッションエリア 2 4 の第 5 ポケット 4 4 に冷却材や加温材を収容することで、中央第 2 クッションエリア 2 4 の中央第 2 頂面 2 7 を冷却又は加温することができるから、夏場での使用時に枕 4 3 の中央第 2 頂面 2 7 を冷やすことができ、冬場での使用時に枕 4 3 の中央第 2 頂面 2 7 を温めることができ、枕 4 3 を快適に使用することができる。

20

30

【 0 0 7 5 】

枕 4 3 は、両側第 2 クッションエリア 2 5 のそれら第 6 ポケット 4 5 に嵩上げ部材を収容することで、両側第 2 クッションエリア 2 5 の高さ寸法を調節することができる。枕 4 3 は、両側第 2 クッションエリア 2 5 のそれら第 6 ポケット 4 5 に冷却材や加温材を収容することで、両側第 2 クッションエリア 2 5 の両側第 2 頂面 2 6 を冷却又は加温することができるから、夏場での使用時に枕 4 3 の両側第 2 頂面 2 6 を冷やすことができ、冬場での使用時に枕 4 3 の両側第 2 頂面 2 6 を温めることができ、枕 4 3 を快適に使用することができる。

【 符号の説明 】

40

【 0 0 7 6 】

- 1 0 枕
- 1 1 使用者
- 1 2 頂面
- 1 3 底面
- 1 4 頸部
- 1 5 第 1 クッションエリア
- 1 6 頂面
- 1 7 底面
- 1 8 頭部

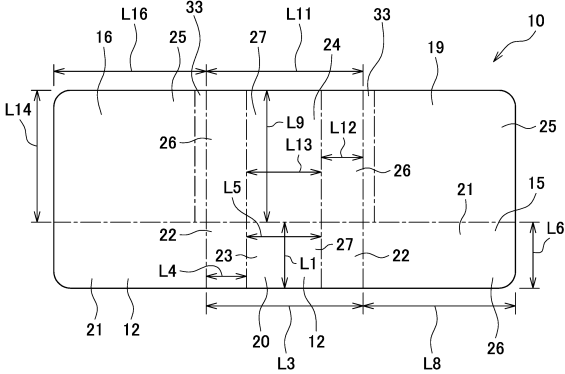
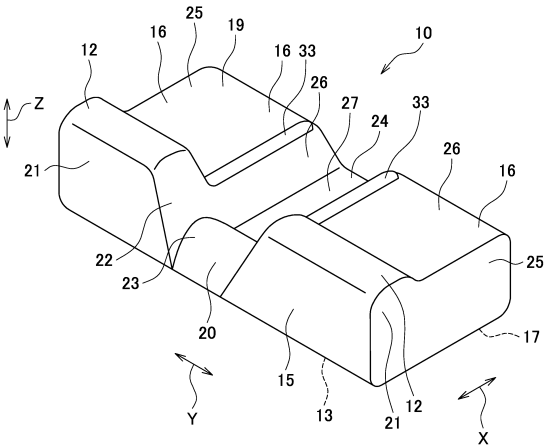
50

1 9	第 2 クッションエリア	
2 0	中央第 1 クッションエリア	
2 1	両側第 1 クッションエリア	
2 2	両側第 1 頂面	
2 3	中央第 1 頂面	
2 4	中央第 2 クッションエリア	
2 5	両側第 2 クッションエリア	
2 6	両側第 2 頂面	
2 7	中央第 2 頂面	
2 8	肩部	10
2 9	カバー部材	
3 0	袋	
3 1	クッション部材	
3 2	頂面	
3 3	ストッパー部材	
3 4	中央第 1 カバーエリア	
3 5	両側第 1 カバーエリア	
3 6	中央第 2 カバーエリア	
3 7	両側第 2 カバーエリア	
3 8	シート部材	20
3 9	第 1 ポケット	
4 0	第 2 ポケット	
4 1	第 3 ポケット	
4 2	第 4 ポケット	
4 3	枕	
4 4	第 5 ポケット	
4 5	第 6 ポケット	
4 6	開口部	
4 7	収容部	
L 1	中央第 1 クッションエリアの前後方向の長さ寸法	30
L 2	中央第 1 クッションエリアの上下方向の最大高さ寸法	
L 3	中央第 1 クッションエリアの幅方向の長さ寸法	
L 4	中央第 1 クッションエリアの両側第 1 頂面の幅方向の長さ寸法	
L 5	中央第 1 クッションエリアの中央第 1 頂面の幅方向の長さ寸法	
L 6	両側第 1 クッションエリアの前後方向の長さ寸法	
L 7	両側第 1 クッションエリアの上下方向の最大高さ寸法	
L 8	両側第 1 クッションエリアの幅方向の長さ寸法	
L 9	中央第 2 クッションエリア前後方向の長さ寸法	
L 1 0	中央第 2 クッションエリアの上下方向の高さ寸法	
L 1 1	中央第 2 クッションエリアの幅方向の長さ寸法	40
L 1 2	中央第 2 クッションエリアの両側第 2 頂面の幅方向の長さ寸法	
L 1 3	中央第 2 クッションエリアの中央第 1 頂面の幅方向の長さ寸法	
L 1 4	両側第 2 クッションエリアの前後方向の長さ寸法	
L 1 5	両側第 2 クッションエリアの上下方向の高さ寸法	
L 1 6	両側第 2 クッションエリアの幅方向の長さ寸法	

【図面】

【図 1】

【図 2】

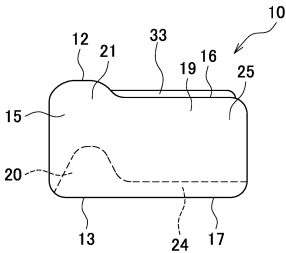
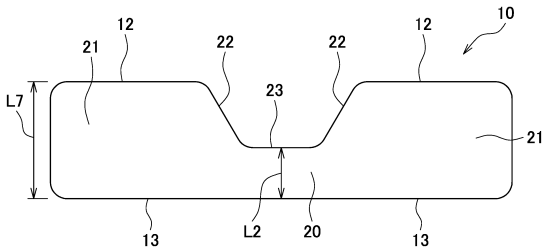


10

20

【図 3】

【図 4】

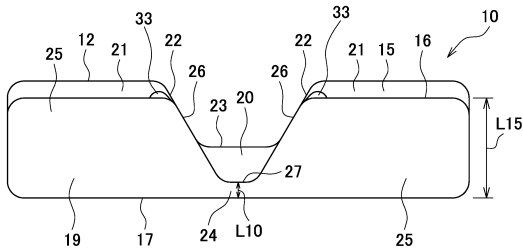


30

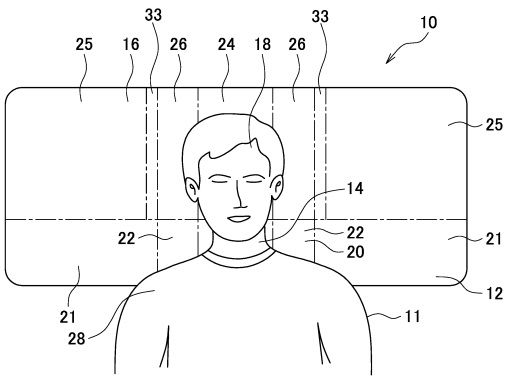
40

50

【図 5】

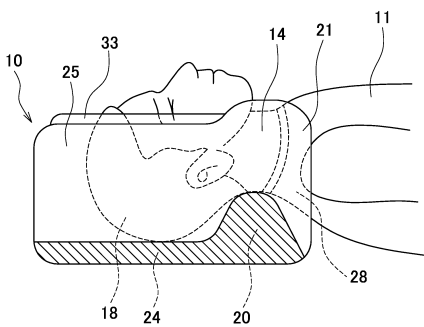


【図 6】

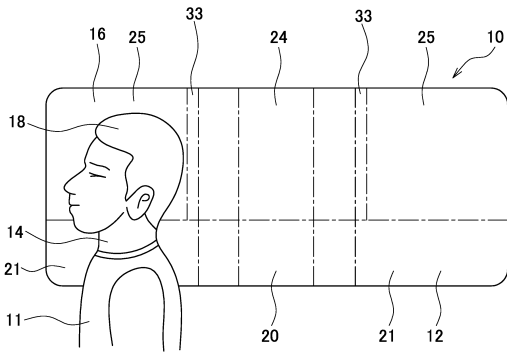


10

【図 7】



【図 8】



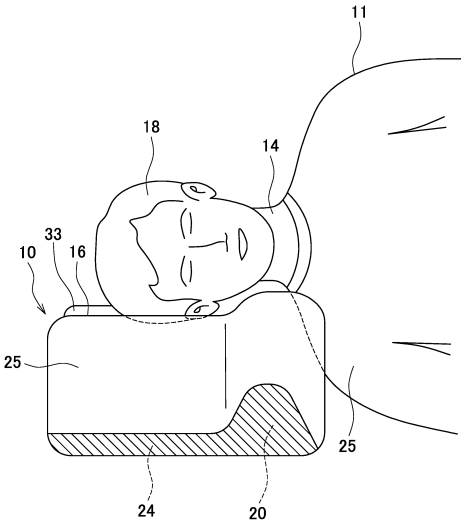
20

30

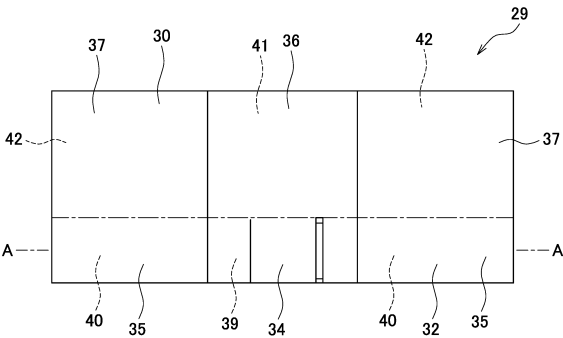
40

50

【図 9】

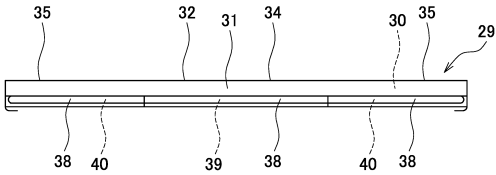


【図 10】

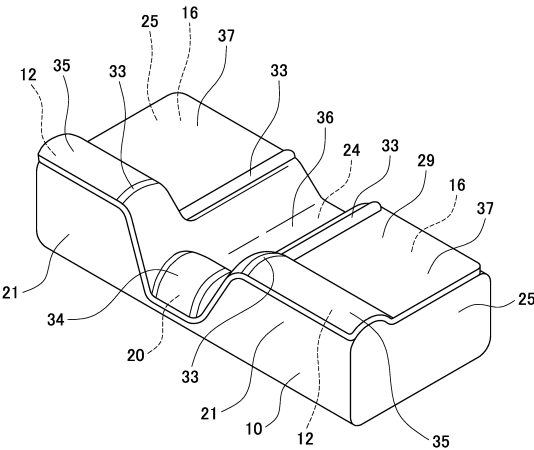


10

【図 11】



【図 12】



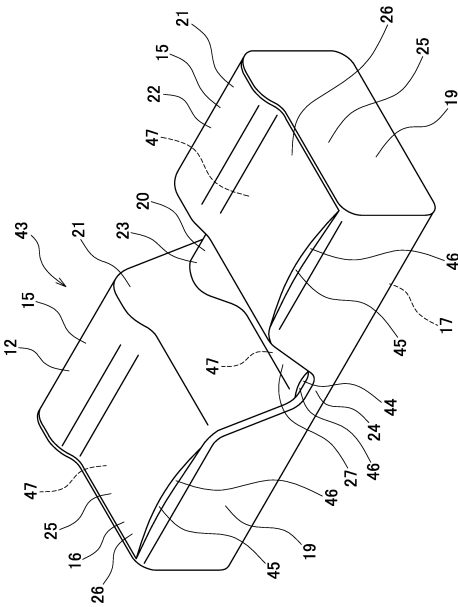
20

30

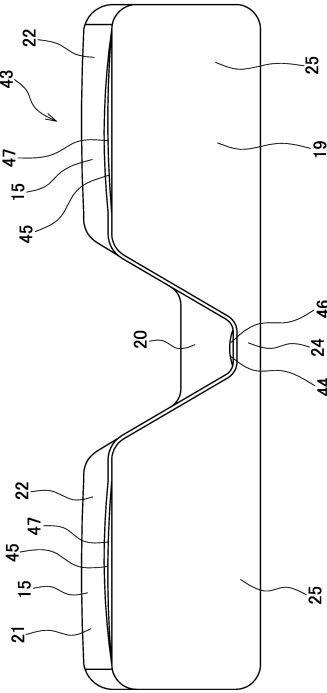
40

50

【図 1 3】



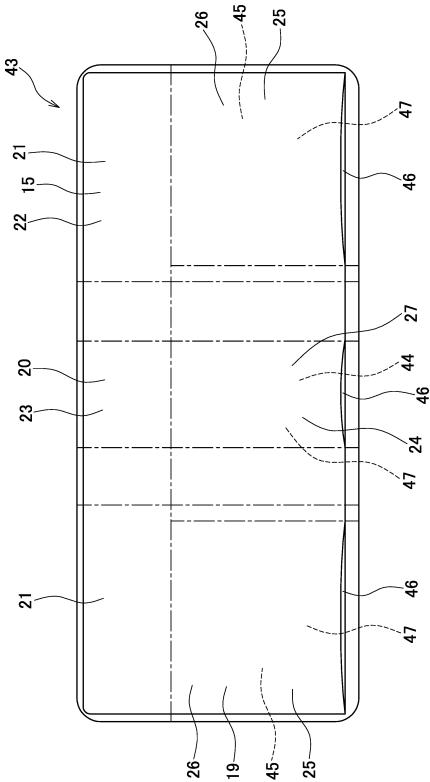
【図 1 4】



10

20

【図 1 5】



30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 特表平 1 0 - 5 0 3 4 0 3 (J P , A)
 実開平 0 1 - 1 4 1 6 7 1 (J P , U)
 特開平 1 0 - 1 6 5 2 7 8 (J P , A)
 登録実用新案第 3 1 6 3 9 1 3 (J P , U)
- (58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)
- A 4 7 G 9 / 0 0 - 1 1 / 0 0